

出口式みらい学習教室は、 全く新しい学習メソッドで、 お子様の未来を応援します。

現代社会は、第4次産業革命の「AIの時代」を迎えようとしています。

コンピューターの「自立化」が進み、記憶や計算をとまらぬような仕事においては、人間は必要でなくなるとも言われる時代です。

こうした世の中の大きな動きがあるにも関わらず、日本の学校や学習塾は、記憶や計算中心の昔ながらの詰め込み型教育を今も続けています。

しかし今後、求められるのは、煩雑な作業はAIやロボットに任せ、自らはAIを使う側に立ち、自由で創造的な仕事のできる知識と能力です。

そのためには未来を見据え、これまでになかった質の高い学びを幼児童期から受けることが必要。人間の脳の成長のピークは6歳頃であり、12歳頃までには完成されるとも言われており、この時期に学ぶ内容によってその子どもの「人格」が形成されるのです。

『出口式みらい学習教室』は、幼児童期に創造的な知能を学べる全く新しい学習メソッドを開発し、子どもたちの未来のために誕生しました。



ここが【出口式】1 自ら答えを「発見」するから、学ぶことに意欲的になります。

自ら発見し、仮説立てし、検証する。そしてそこから新しい概念を組み立てる。【出口式】は決まった答えを「教える」のではなく、自分で考え、自分で発見し、自分で答えを導き出す、未来型の“学ぶ教育”を展開します。自分で考え抜くことで学ぶ楽しさを実感し、「真実」を発見した子どもたちは目を輝かせるのです。

ここが【出口式】2 古い価値観を取り払うために、親も先生も一緒に学びます。

「国語はこうあるべき」「勉強はこうあるべき」など、古い教育を受けた大人たちの古い価値観が、子どもたちの未来へ続く新しい教育への「障壁」となります。そのため【出口式】では「保護者も先生も、子どもと一緒に学ぶ」スタンスで授業を進めるのが基本。古い概念を取り払い、世の中の捉え方を変えることから新しい学びは始まります。

ここが【出口式】3 遊び感覚を取り入れて、学ぶ「楽しさ」を伝えます。

「遊び」の中から発見することも「学び」のひとつです。【出口式】では、子どもたちがゲーム感覚で学べる教具を用意するなど、授業が「楽しい」という感覚をそのまま家に持ち帰ってもらいます。一度「勉強は楽しい」と認識すれば、子どもたちはこれからはずっと、学ぶことに苦手意識を持つことなく積極的になれるのです。



【出口式】今後の展望

算数の言葉を習得し、文章題が面白いように解けるようになる「論理算数」。ディープラーニングのできる卓上ロボットを利用した「論理英語」。日本の伝統や文化、社会や自然、歴史に政治経済などを自ら学んでいく「論理社会」。論理からプログラミングを習得していく「論理プログラミング」など、まったく新しい未来型の教材を次々と開発中。今後も進化を続ける「出口式みらい学習教室」にご期待ください。

論理算数

論理英語

論理社会

論理プログラミング

今の子どもに必要なのは、
未来の社会を生き抜く力。

論理的な「読解力・思考力・表現力」を
伸ばすシステム教材

論理エンジン
を幼児童用教材に再構築

出口式 みらい
学習教室



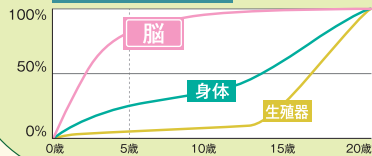
出口式^{ひろし}の学びの特色



なぜ今、幼児童教育が必要なのか？

人間の脳は6歳頃までに約80%が発達し、12歳頃にほぼ100%まで完成されます。これは世界各国における最新の脳生理学の研究によって明らかになったこと。日本には「三つ子の魂百まで」の言葉がありますが、幼児童期の学習が、その子どもの将来的な能力に大きな影響を与えるのです。

スキヤモン成長曲線



幼児童期の学びは「人間力」を養う。

【出口式】の独自の人間能力全般を成長させる学習メソッドにより、幼児童期に育んだ高い「人間力」は、「勉強」の領域を超え、芸術やスポーツなど多彩な分野の才能を花開かせることも出来ます。受験の合格はあくまで通過点。【出口式】は子どもたちの未来を見据えています。

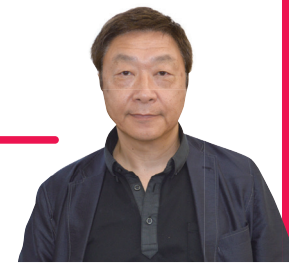
「教える」よりも「学ばせる」。

「教える教育」は解答能力を付けさせることが目的なので、暗記や計算が中心です。これではあらかじめ用意された答えを忠実に実行する“ロボット人間”が出来上がるだけ。【出口式】の「学ばせる（自分で考えさせる）指導」は、自らの力で「真実」を発見していく過程を大切にします。



子どもと一緒に、保護者も学ぶ。

【出口式】では、お子様だけでなく保護者の方も一緒に授業を受けていただきます。実は私たちも含めて“古い教育”を受けた大人は固定観念が脳に出来上がり、新しい学びを否定しがち。そこを一旦フラットにさせていただくことで、お子様の成長を自らの体験を通して実感していただけるのです。



出口式
みらい学習教室

代表 出口 汪^{ひろし}

本気でお子様の未来を考えるなら、私たちに任せください。

もともと大学受験から出発した「論理エンジン」は特に中学生と高校生が対象ですが、ひとつ大きな問題点がありました。高校生はもちろん、中学生であっても既に脳の中に“古い建物”を建ててしまっています。そこにこれまでと全く違う「論理」という新しい建物を建てるには、古い建物を一旦壊さなければなりません。これが結構厄介で、彼らは壊すことに恐怖を感じるのです。一方、幼児童であれば、まだ複雑な情報が書き込まれていないきれいな状態の脳なので、最初から最新かつ最高の概念を構築していけば、面白いように吸収して伸びていくことがわかりました。

今の子どもたちの未来を考えたとき、彼らが将来社会で活躍する頃には、一体どんな社会になっているのか、そこではどんな能力が必要なのか、そのためにはどんな内容の学習をどのような順番で、どのような方法で与えればいいのか。教育に携わるからには、そこまで考える必要があると思います。そして、その答えを『出口式みらい学習教室』は明確に持っているのです。

お問い合わせ